

A photograph showing a large audience from an elevated perspective, looking down at a stage. The stage is covered with a dark red carpet and features a white banner with text that is partially visible. The audience consists of many people seated in rows, facing the stage area.

指定研究事業とは…

大分県 P.T.A.連合会指定研究
1949年(昭和24)に始まつた研究
委指定の事業を1956年(昭和31年)
に引き継いだ他県にはない県
の特色ある事業である。大分
より2単位のP.T.A.が研究指
受け、2年間の研究成果を公
表する。P.T.A.振興の一助を
アキタがム年中で終つておる

構成された学級数7学年
2校の小学校校区から
構成される小規模校。国東市
の南側に位置し近くに
は大分空港がある。生徒
恒例のPTA行事など
もあり多くの保護者が
来る

成される総務部が主導。学校相談し協力し、
負担軽減のため内容別
る3つのチームを設け
ることで専門部を全て
廃止、子どもの安全に
が残る活動を行う「安
全チーム」など3チーム
ムは保護者と教職員で
には「指導講評」とい
ふ活動連携を図る。ま

新日本アカデミー

河野先生、ありがとうございます。朝日小PTAの研究発表会に参加していただき、ありがとうございました。河野先生は、P.T.A.活動をめぐる「時代にあったPTA活動を目指す」というテーマで、P.T.A.活動の歴史と現状についてお話し下さいました。河野先生によると、P.T.A.活動は、1920年頃から始まり、1940年頃から本格化したといわれています。P.T.A.活動は、主に母子家庭の支援や、児童青少年の育成、地域社会の活性化などを目的としています。河野先生によると、P.T.A.活動は、主に母子家庭の支援や、児童青少年の育成、地域社会の活性化などを目的としています。河野先生によると、P.T.A.活動は、主に母子家庭の支援や、児童青少年の育成、地域社会の活性化などを目的としています。

別府市立朝日小学校PTA

第48回 大分県PTA広報紙コンクール 表彰式 3月18日(火)

※詳細は県PTA連HPでご確認いただけます

令和6年度 優良PTA功労者表彰

九州ロジウム協議会会長表彰

個人賞

藤原正康(臼杵市)、工藤慎一(杵築市)、御幡雅章(中津市)、森恵(宇佐市)、御幡雅章(中津市)、個人賞

団体賞

豊後大野市立三重中学校PTA、宇佐市PTA連合会、豊後大野市立三重中学校PTA

PTA会長表彰

個人賞

藤原正康(臼杵市)、工藤慎一(杵築市)、御幡雅章(中津市)、個人賞

団体賞

豊後大野市立三重中学校PTA

PTA会長表彰

◆「やつてもいいかな」くら
いの小さな一步。いくつかの
少しつづでも。人生的履歴書
に加わる特別な未来。(O)

◆「今この思いを皆さん伝えたい。
う共通の親心に胸が熱くなる。
る。「一期一会」子どもを思
ふ。」「全日本の高校に行きたい」
中3次男(不登校)が自分から
動き出しますで見守り待つこ
と約5年。長かった。もちろん
全力で応援するよ。(K)

◆「やつてもいいかな」くら
いの小さな一步。いくつかの
少しつづでも。私が生活に彩を添えた。

◆「やつてもいいかな」くら
いの小さな一步。いくつかの
少しつづでも。人生の履歴書
に加わる特別な未来。(O)

◆「今この思いを皆さん伝えたい。
う共通の親心に胸が熱くなる。
る。「一期一会」子どもを思
ふ。」「全日本の高校に行きたい」
中3次男(不登校)が自分から
動き出しますで見守り待つこ
と約5年。長かった。もちろん
全力で応援するよ。(K)

◆「やつてもいいかな」くら
いの小さな一步。いくつかの
少しつづでも。私が生活に彩を添えた。

◆「今この思いを皆さん伝えたい。
う共通の親心に胸が熱くなる。
る。「一期一会」子どもを思
ふ。」「全日本の高校に行きたい」
中3次男(不登校)が自分から
動き出しますで見守り待つこ
と約5年。長かった。もちろん
全力で応援するよ。(K)

大分県PTA連合会

DATA 新時代

12月1日、令和5年・6年度の2年間、県PTA連合会指定研究に取り組んできました。2校の研究発表会が農教館で行われた。

継続的研究の成果を披露する最後の指定研究発表会には県内から約400名の会員が参加。多様化する社会のなかで何を守り変えていくのか P.T.活動の展望を考える機会となつた。

討することができなかった。2年間開会宣言に及ぶ研究と実践に取り組み、日本発表する2校に感謝する会長が続いた。山田弘樹県P連に協力していただいた全ての会員に感謝したい」と述べた。皆様に感謝されるとともに県P連指定研究事業部会長が、「子どもを取り巻く社会環境はめまぐるしく変化し深刻な課題が山積する状況にある。家庭だけでは多様化する問題を解決できない難通して、子どもの健全育成を支援するための保護者と学校の取組を地域社会の役割を改めて確認した」と述べた。今後も地域だけではなく、地域社会の役割を改めて確認していくことにより、よりよい関係網を再構築し家庭・学校・地域を繋ぐことを目標として、PTAにはつくりや連携のあり方などについて学び合いつつ、PTA活動が創造されることが期待している」と祝辞で、2校の公述述べた。その後、2校の公述されたこの指定期定研究事業は今年度を終り、新たな研修の場を開催されました。

令和5・6年度大分県PTA連合会 指定研究発表